



# 2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 OBARA GROUP株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6877 URL <http://www.obara-g.com/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小原 康嗣  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 飯高 成美 (TEL) 046-271-2124  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	18,429	39.6	3,059	52.2	3,202	32.1	1,930	30.1
2025年9月期第1四半期	13,199	6.7	2,009	10.1	2,424	29.3	1,484	9.1

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 4,247百万円(23.7%) 2025年9月期第1四半期 3,434百万円(678.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	126.36	111.81
2025年9月期第1四半期	91.30	81.61

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	106,617	77,036	72.1
2025年9月期	103,830	74,679	71.8

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 76,881百万円 2025年9月期 74,533百万円

(注) 前第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年9月期の関連する数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	60.00	—	90.00	150.00
2026年9月期	—	—	—	—	—
2026年9月期(予想)	—	60.00	—	90.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	32,700	15.9	4,750	15.5	4,850	10.5	3,200	8.8	209.45
通期	63,900	3.6	9,200	△5.2	9,550	△6.2	6,300	△6.8	412.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年9月期1Q	20,869,380株	2025年9月期	20,869,380株
2026年9月期1Q	5,615,067株	2025年9月期	5,496,267株
2026年9月期1Q	15,277,473株	2025年9月期1Q	16,257,774株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9
(企業結合等関係) .....	9
(重要な後発事象) .....	9
3. 補足情報 .....	10
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	10
(2) 地域別販売状況 .....	10

## 1. 経営成績等の概況

前第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度との比較分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年10月1日～2025年12月31日）における世界経済は、不透明感のある情勢下、一部地域に弱含みが見られたものの、米国が堅調を維持し、アジアや欧州に持ち直しの動きが見られるなど、総体的には回復基調となりました。

我が国経済につきましては、個人消費や企業の設備投資に持ち直しが見られるなど、景気に回復の動きが見られました。

このような状況の下、当社グループと深く関わる各業界の概況は次のとおりとなりました。自動車業界につきましては、環境対応車の再定義が行われる中、世界各地で前向きな設備投資姿勢が継続しました。エレクトロニクス業界では、先端半導体デバイスでの市況回復が見られましたが、レガシー品では調整的な設備投資動向が継続しました。また、電力業界では、中長期的視野に立った配電設備の拡充や更新が計画的に行われました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズに対応した製品投入を進めるとともに、技術革新・次世代装置などの高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高184億29百万円(前年同期比39.6%増)、営業利益30億59百万円(前年同期比52.2%増)、経常利益32億2百万円(前年同期比32.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益19億30百万円(前年同期比30.1%増)となりました。

なお、2024年12月10日に、送配電部品等の製造販売を営む株式会社NSSK-QQ（同日付で、エナジーコンポーネンツホールディングス株式会社に商号変更）を子会社化し、電気機器関連事業に参画しておりますが、みなし取得日を2024年12月31日としているため、前連結会計年度におきましては、当該事業につきまして第2四半期連結累計期間からの業績を反映しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、各セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高又は振替高を含む数値を記載しております。

#### 溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である自動車業界において、世界各地で堅調な生産活動が行われ、車体組立分野の継続的な設備投資が見られました。

このような環境の下、当部門として設備品及び消耗品の拡販を図ったことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は109億50百万円(前年同期比27.0%増)、部門営業利益は17億95百万円(前年同期比17.2%増)となりました。

#### 平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、高度半導体デバイスにおける用途の多様化などを背景とし、取引先であるエレクトロニクス関連素材において、安定的な生産活動や設備投資が続きました。

このような環境の下、当部門として顧客要求に適合した製品の販売促進に努めたことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は58億47百万円(前年同期比27.7%増)、部門営業利益は11億77百万円(前年同期比70.4%増)となりました。

#### 電気機器関連事業

電気機器関連事業につきましては、取引先である電力業界において、配電設備の拡充や更新が行われ、電線・ケーブルの接続機材などの継続的な資材投資が見られました。

このような環境の下、当部門として顧客要求に適合した製品の販売促進を図ったことなどにより、業績は堅調に推移しました。

この結果、部門売上高は16億31百万円、部門営業利益は1億10百万円となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,066億17百万円と、前連結会計年度末に比べて27億87百万円増加しました。流動資産のその他が3億17百万円、預け金が2億62百万円減少した一方、売掛金が19億49百万円、電子記録債権が8億77百万円、棚卸資産が3億27百万円、長期預金が2億7百万円増加したことなどによります。

負債は295億80百万円と、前連結会計年度末に比べて4億30百万円増加しました。未払法人税等が2億96百万円、契約負債が3億74百万円、賞与引当金が4億52百万円減少した一方、支払手形及び買掛金が9億50百万円、流動負債のその他が1億1百万円、繰延税金負債が4億70百万円増加したことなどによります。

純資産は770億36百万円と、前連結会計年度末に比べて23億57百万円増加しました。自己株式を5億7百万円取得した一方、利益剰余金が5億46百万円、為替が前期末より円安のため為替換算調整勘定が22億84百万円増加したことなどによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想につきましては、現時点において概ね計画通りに推移しており、2025年11月12日に発表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,118	26,052
受取手形	22	10
電子記録債権	3,669	4,547
売掛金	14,389	16,339
有価証券	61	17
商品及び製品	10,629	10,669
仕掛品	7,662	7,744
原材料及び貯蔵品	5,204	5,409
預け金	262	—
その他	1,559	1,242
貸倒引当金	△336	△369
流動資産合計	69,243	71,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,675	10,708
土地	6,114	6,198
その他（純額）	5,978	6,078
有形固定資産合計	22,768	22,984
無形固定資産		
のれん	3,862	3,757
その他	1,898	1,857
無形固定資産合計	5,760	5,615
投資その他の資産		
投資有価証券	1,681	1,716
長期預金	2,923	3,130
その他	1,457	1,512
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	6,057	6,354
固定資産合計	34,586	34,954
資産合計	103,830	106,617

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,634	6,584
1年内返済予定の長期借入金	82	85
未払法人税等	1,366	1,069
契約負債	6,147	5,773
賞与引当金	1,229	776
その他	2,379	2,481
流動負債合計	16,838	16,770
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,571	7,563
長期借入金	289	276
繰延税金負債	3,405	3,875
役員退職慰労引当金	43	43
退職給付に係る負債	691	738
その他	310	311
固定負債合計	12,311	12,809
負債合計	29,150	29,580
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
利益剰余金	82,205	82,752
自己株式	△19,947	△20,454
株主資本合計	64,183	64,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	285	309
為替換算調整勘定	10,063	12,348
その他の包括利益累計額合計	10,349	12,657
非支配株主持分	146	155
純資産合計	74,679	77,036
負債純資産合計	103,830	106,617

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	13,199	18,429
売上原価	8,714	12,516
売上総利益	4,485	5,913
販売費及び一般管理費	2,475	2,854
営業利益	2,009	3,059
営業外収益		
受取利息	102	88
受取配当金	6	7
為替差益	233	71
その他	79	36
営業外収益合計	422	205
営業外費用		
支払利息	2	4
自己株式取得費用	—	49
その他	5	8
営業外費用合計	8	62
経常利益	2,424	3,202
税金等調整前四半期純利益	2,424	3,202
法人税、住民税及び事業税	660	815
法人税等調整額	278	452
法人税等合計	938	1,268
四半期純利益	1,485	1,933
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,484	1,930



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,485	1,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48	23
為替換算調整勘定	1,900	2,290
その他の包括利益合計	1,949	2,313
四半期包括利益	3,434	4,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,429	4,239
非支配株主に係る四半期包括利益	5	8

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年5月9日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。これを受け、東京証券取引所における市場買付けにより、2025年10月1日から2025年10月29日までに普通株118,800株、507百万円の取得を行いました。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	電気機器 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,619	4,579	—	13,199	—	13,199
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	△0	—
計	8,619	4,579	—	13,199	△0	13,199
セグメント利益	1,532	691	—	2,223	△213	2,009

(注) 1 セグメント利益の調整額△213百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△213百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	電気機器 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,950	5,847	1,631	18,429	—	18,429
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	△0	—
計	10,950	5,847	1,631	18,429	△0	18,429
セグメント利益	1,795	1,177	110	3,082	△22	3,059

(注) 1 セグメント利益の調整額△22百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△22百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	390百万円	437百万円
のれんの償却額	一百万円	104百万円

(企業結合等関係)

(比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し)

2024年12月10日に行われた株式会社NSSK-QQとの企業結合について、前第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、前第2四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、主に無形固定資産のその他が増加し、暫定的に算定されたのれんの金額5,275百万円は、会計処理の確定により1,099百万円減少し、4,175百万円となっております。

なお、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2026年2月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。

#### 1 自己株式の取得を行う理由

成長戦略の実施に必要な財務基盤を維持しつつ、株主還元の一層の強化と資本効率の向上を図るため、自己株式の取得を行うものであります。

#### 2 取得に係る事項の内容

- (1) 取得対象株式の種類：当社普通株式
- (2) 取得しうる株式の総数：1,200,000株（上限）
- (3) 株式の取得価額の総額：5,000百万円（上限）
- (4) 取得方法：東京証券取引所における市場買付け
- (5) 取得期間：2026年2月16日から2027年2月15日まで（約定日ベース）

## 3. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第1四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	9,212	+25.6
平面研磨装置関連事業	3,991	△38.8
電気機器関連事業	1,911	—
合計	15,115	+9.1

(注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。

2 金額は、販売価格で表示しております。

## ②受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	10,671	+16.3	9,617	+20.4
平面研磨装置関連事業	5,814	+9.9	26,605	△16.7
電気機器関連事業	1,791	—	2,585	+35.6
合計	18,278	+26.4	38,808	△7.2

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

## ③販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
溶接機器関連事業	10,950	+27.0
平面研磨装置関連事業	5,847	+27.7
電気機器関連事業	1,631	—
合計	18,429	+39.6

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

## (2) 地域別販売状況

(単位：百万円)

	日本	アジア パシフィック	米州	その他	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
売上高							
外部顧客への売上高	7,200	9,095	1,615	518	18,429	—	18,429
セグメント間の内部 売上高又は振替高	751	452	10	14	1,227	△1,227	—
計	7,951	9,547	1,625	533	19,657	△1,227	18,429
セグメント利益	1,514	1,413	127	20	3,076	△16	3,059

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。